

主張大会から「広がる」

—ゴミ拾いから考える—

校長 土屋 美之

「そんなにグリーンバードって大切なことなの？」

「え?どうして」

「グリーンバードってよくわからないからさ」

これは6月16日(日)、瑞浪市主張大会に出場した土岐小6年生の代表の話の冒頭です。グリーンバードとは、「きれいな町は人の心もきれいにする」をコンセプトにした原宿の表参道発信のプロジェクト。瑞浪では15年前から発足しており、そこに自分が参加し、ゴミ拾いをする中で考えたことをテーマにしました。当日は、実に堂々と、強弱をつけながら、はきはきと明るい声で発表しました。ここまでくるには、学校や家で練習することはもちろんのこと、当日の会場でもある瑞浪市文化センターに何回か行き、リハーサルを重ねたり、指導を受けたりしてきました。それが成果として表れたのは実に素晴らしいことです。また、内容も立派でした。内容を紹介しますと、次の4点です。



- ①町をきれいにしようと活動している人がいる一方、無意識にごみを捨てて町を汚している人がいるのは許せないこと
- ②ごみを拾っていると、地域の人からあたたかい声をかけてもらえてうれしかったこと
- ③活動してみると思った以上にゴミが捨てられていること
- ④みんなにも瑞浪の町をきれいにしてほしいこと

この話には後日談があります。

学校では、事前に主張大会のリハーサルを兼ねて全校集会で話してもらいます。それを聞いていた1年生の子がすごく共感し、代表の子にお手紙を渡すだけでなく、当日もお母さんと一緒に聞きに来ました。ちなみに、お手紙の内容が以下の通りです。

皆さん、ごみをすてていませんか?

ごみをすてることを「ぼいすて」としようがっこうはっています。

まえ、しようがっこうで6ねんせいのいつもあそぶおねえさんがいってくれたようにごみをどうろやたんぼにすてているところを見ると、わたしはおねえさんのきもちがわかりました。かなしいことです。

ちいきのみなさんにおねがいです。そとのどうろやたんぼにすてないでください。おねがいます。

1ねん〇くみ 〇〇より

ちいきのみなさんへ

学校で聞いた主張大会の話を自分事としてとらえ、すごく考え、お手紙にしたためたことと思います。これも立派な主張作文ですね!また、グリーンバードに興味をもった子がグリーンバードに参加したそうです。主張大会での主張がどんどん広がりをもっています。瑞浪の町がさらにきれいになりますね!!